

基本理念・基本方針・推進施策

■ 基本理念

誰もがいつでも安全で快適な移動ができる
まちをつくる交通環境

■ 基本方針・推進施策

基本方針1 安全に移動できる交通環境の確保

- 推進施策1-1 幹線道路における通行空間等の整備推進
- 推進施策1-2 生活道路における交通安全確保の推進
- 推進施策1-3 バリアフリー化の推進

基本方針2 安心して暮らせる交通環境の確保

- 推進施策2-1 防災機能を有する幹線道路の整備推進
- 推進施策2-2 生活道路における防災性向上の推進
- 推進施策2-3 道路の無電柱化の推進
- 推進施策2-4 防犯対策の推進

基本方針3 円滑で快適な移動ができる交通環境の確保

- 推進施策3-1 都市計画道路の整備推進
- 推進施策3-2 交差点・踏切・橋りょうの改良・維持管理

基本方針4 公共交通で移動できる交通環境の確保

- 推進施策4-1 バスの利便性向上の推進
- 推進施策4-2 交通結節機能向上の推進
- 推進施策4-3 鉄道の混雑緩和に向けた働きかけ

基本方針5 歴史、文化、自然環境や新技術等に貢献する交通環境の確保

- 推進施策5-1 歴史、文化等の資源につなげる取り組みの推進
- 推進施策5-2 環境保全に向けた取り組みの推進
- 推進施策5-3 新技術の活用に向けた検討の推進

国分寺市 都市交通マスタープラン概要版

計画の目的と位置づけ

平成28年2月策定の国分寺市都市計画マスタープラン(以下、「都市マス」という。)は、市民意向を反映し、市の魅力を守り、さらに引き出すとともに、超高齢社会、人口減少をにらみ、若い世代の人も子育てがしやすく、国分寺市に住む全ての人が住み続けたいまちを目指したものです。

都市マス策定の段階では、市民の皆様から国分寺市の特色である豊かな緑や閑静な住宅街といった点で満足をいただいている一方、道路、交通問題や災害に備えたまちづくり等を重視すべきという御意見を多くいただき、交通問題の改善は重要な目標となっています。

そこで、都市マスが掲げる将来あるべき都市像を実現するため、都市マスの交通体系の分野を補完する、公共交通、自動車、自転車・徒歩等で構成される交通体系整備に関する基本方針として、『国分寺市都市交通マスタープラン』を策定します。

なお、本計画の目標年度は、概ね20年後の令和23年度とします。



● 問合せ先

国分寺市 まちづくり部 まちづくり計画課
〒185-8501 東京都国分寺市戸倉1-6-1
TEL 042-325-0111(内線449・454)

市の交通課題

1 幹線道路の課題

安全性

本市の道路では、自動車と自転車、歩行者が錯綜している状況が確認されており、幹線道路における安全性の向上が課題となっています。

防災性

火災発生時に延焼を遮断させる機能を有する道路や、災害発生時の消火活動や救急救命活動、緊急輸送に支障のない十分な幅員を有する道路の整備が課題となっています。

交通混雑

本市には、交通需要に対して交通容量が不足している交差点・踏切があります。人と物の移動の円滑化に向け、幹線道路における交通混雑の解消が課題となっています。

都市計画道路

本市の都市計画道路の整備率は22%で、多摩地域の完成率(約60%)に比べ低くなっており、都市計画道路の整備が必要となっています。

2 生活道路の課題

生活道路には、普段の通行や災害時の避難路といった役割があります。しかし、本市には、狭い道路が多く、市道の約87%が幅員5.5m未満の道路となっています。(「令和2年度国分寺市統計 令和3年 国分寺市」より)

3 交通結節点の課題

本市では、朝夕の通勤時間帯に人の流れが駅周辺に集中し、駅周辺の一部の道路については、自動車・自転車・歩行者が錯綜しており、駅周辺の道路における安全性の向上が課題となっています。また、改札口の位置や鉄道と自動車の乗り継ぎなど、誰もが移動しやすい環境の実現に向け、「利用しやすさ」や「わかりやすさ」の向上についても課題となっています。

4 公共交通の課題

市民アンケート調査では、鉄道の車内混雑に対する満足度が低く、混雑の緩和が課題となっています。また、国分寺崖線を中心とした地形の起伏がある本市においては、鉄道駅からの距離が近くても高低差が大きく、アクセスし難い地域があり、その対応が必要とされています。さらに、人口減少等を見据えた公共交通の維持についても、今後の課題の1つと考えられます。

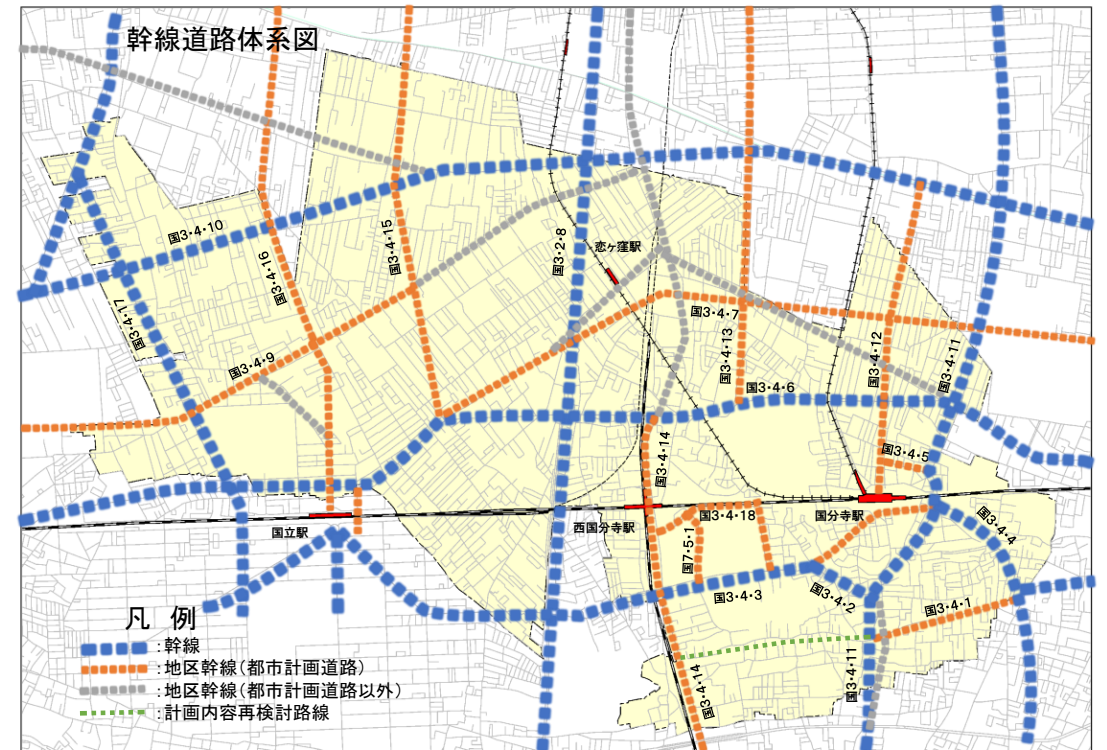
5 その他の課題

第二次国分寺市環境基本計画において、自家用車の温室効果ガス削減が求められており、その対応が課題となっています。また、市民の健康増進に向けた散歩や散策を楽しむことができる道路の整備や、新技術への対応なども課題として考えられます。この他にも、交通マナーや心のバリアフリーといったソフト面の周知も課題となっています。

将来交通体系

将来交通体系として、幹線道路体系と公共交通体系を下図のとおり定めます。

幹線道路体系図



公共交通体系図

